

## 【概要】

近年、看護師は医療技術の進歩や患者の重症化、在院日数の短縮化により、看護実践の量も質も求められている。シミュレーショントレーニングは研修者自身の内省や他者から承認による‘気づき’から臨床実践能力を実感するとともに、自己効力感を得ることが期待される。

新潟大学医歯学総合病院では看護部臨床技術トレーニングセンターのほか新潟医療人育成センターが開設しており、シミュレーターを備えた施設が充実している。このセンターを活用し、地域の看護師の受け入れも行っている。今後、当院及び地域の看護師の臨床実践能力の向上のためには、更に研修プログラムを充実及び発展させる必要がある。

そこで、今回、シミュレーショントレーニング領域の教育指導者の能力拡大に取り組むとともに、シミュレーション教育領域の指導者養成プログラムの充実と展開に取り組んだ。シミュレーション教育研修への看護職員の派遣及び派遣した看護職員によるファシリテーター研修運営参加による能力拡大を図った。また、新規ファシリテーター養成プログラムの作成を行い、当院看護職員に対する研修のほか、施設外看護職員に対する研修を実施した。

## 【背景】

近年、看護師は医療技術の進歩や患者の重症化、在院日数の短縮化により、看護実践の量も質も求められている。シミュレーショントレーニングは研修者自身の内省や他者から承認による‘気づき’から臨床実践能力を実感するとともに、自己効力感を得ることが期待される。

新潟大学医歯学総合病院では看護部臨床技術トレーニングセンターのほか新潟医療人育成センターが開設しており、シミュレーターを備えた施設が充実している。このセンターは新潟県における医療の高度化に対応できる医療人育成に資することを目的としている。当看護部はこのセンターを利用し、地域の看護師の技術トレーニングの受け入れを行っている。当院は県内唯一の大学病院であり、今後、地域の看護師の臨床実践能力の向上のためには、更にこのセンターを活用し、研修プログラムを提供していく必要がある。

そこで、今回、シミュレーショントレーニング領域の教育指導者の能力拡大に取り組むとともに、シミュレーション教育領域の指導者養成プログラムの充実と展開に取り組むこととした。

## 【実践計画】

### 1. 院内シミュレーション教育指導者の能力拡大

1) シミュレーション教育研修への参加費用確保、2) シミュレーション教育研修参加者の選出と研修派遣、3) 院内研修におけるファシリテーターの実践、4) 部署におけるシミュレーショントレーニングの実施状況確認、5) シミュレーション教育指導者の能力拡大について調査

### 2. シミュレーション教育ファシリテーター養成プログラムの充実と展開

1) シミュレーショントレーニングワーキングメンバー（以下ワーキングメンバー）の選出、2) プログラムの作成と展開、①副看護師長リフレクション研修企画・運営、②中堅看護職員ファシリテーター養成研修企画・運営、③施設外看護職員への研修企画・運営、④各研修の評価

## 【結果】

### 1. 院内シミュレーション教育指導者の能力拡大

1) 今年度の教育研修等の使用予定経費を提示し、看護部管理室内で検討し、シミュレーション教育研修に使用可能な経費を確保した。2) 研修は内容と過去の研修参加者の学習効果と意見により選択した。研修参加者の選出はシナリオ作成の演習がある研修に関してはシミュレーショントレーニングに関する基礎知識を有しているスタッフ2名とした。基本的なシミュレーション教育研修については看護師長の推薦のあるスタッフとし、全スタッフに希望者を募った。希望者は部署の教育担当者や教育委員会のメンバーであった。部署のシミュレーション教育に関する人材の配置状況をもとに、看護部管理室内で9名選出した。3) 派遣した研修参加者のうち10名は院内研修にてファシリテーターや研修の企画運営を実施し、能力拡大の機会とした。4) 院内研修にてファシリテーターを実施していない研修参加者は部署での活動を能力拡大の機会とした。部署でシミュレーショントレーニングを実施したのは、5名であった。5) 部署の看護師長からは「後輩への指導において、以前より待つ姿勢が出てきている」、「ファシリテーターとして参加した研修に関して部署教育と結び付け行動している」、「目的を明確にしたシミュレーショントレーニングを実施している」等の意見があった。研修参加者からは「研修目的を達成できるよう支援することの難しさを学んだ」、「研修の企画運営に携わりたい」等の意見があった。教育委員会メンバーの研修参加者からは「ファシリテーターが役割を發揮できているかを確認しながら研修を進めた」、「研修の企画の際に目的が達成できるよう、ファシリテーターのオリエンテーションも検討し行った」等の意見があった。

## 2. シミュレーション教育ファシリテーター養成プログラムの充実と展開

1) 教育委員会メンバー及び今後教育委員会メンバーとなる研修参加者4名をワーキングメンバーとして選出した。2) プログラムの作成や展開を行うとともに能力拡大の機会とした。当院副看護師長リフレクション研修3回、施設外看護職員ファシリテーター養成研修STEP1を2回、STEP2を1回実施した。中堅看護職員の研修は企画中であり、今後実施予定である。4) 副看護師長リフレクション研修では参加者の95.8%がリフレクションについて理解できたと返答し、98%が新たな気づきがあったと答えた。学んだ内容としては「相手が気づけるよう、答えさせる・引き出すことが大切さと難しさ」、「一度に沢山のことを引き出すのではなく、焦点（目標）に沿ったリフレクションをする」等があった。施設外看護職員ファシリテーター養成研修STEP1では「シミュレーション教育」及び「リフレクション手法」の講義とシミュレーショントレーニングを行った。理解度は95.8%が理解できたと返答し、全員が新しい気づきがあったと返答していた。STEP2では、「デブリフィングの講義」とシミュレーショントレーニングを行ったが、全員が理解できたと返答した。また、87.5%の参加者が自施設での活用を計画中または実施したと答えていた。ワーキングメンバーからは「看護師経験や職位の異なる研修者の理解度に合わせ、進行する必要がある」、「ワーキングメンバー間での振り返りで自分の傾向が分かった」等の意見が聞かれている。

### 【評価及び今後の課題】

シミュレーショントレーニング領域の教育指導者の能力拡大として、合計11名が体系的にシミュレーション教育について学ぶことができ、また実践の場で学びを活用できたと思われる。今後も能力拡大に努めるほか、教育指導者の増員に向け、継続的に研修に派遣する仕組みを構築する必要がある。また、教育関連委員会とワーキングの組織化も課題の一つである。

各研修後アンケートでは高評価を得ているが、企画した研修の参加者の習得度と活用状況の把握が不足しているため、実施プログラムの効果を評価していく。